

## コロナに負けないチーム作り 歯科医院での働き方改革 —人生100年時代を支えるための体制整備と人財育成—

株式会社デンタルタイアップ 小原 啓子  
富山県射水市 やまざき歯科医院 山崎 史晃

令和2年の春、新型コロナウイルスが世界中を襲いました。

各国のリーダーは、「コロナとの戦争」を強調し、命運は団結にかかっていると述べました。経済・産業を完全に止めることなく感染拡大の阻止に臨みましたが、現状ではまだまだ結果は不安定です。ポストコロナ社会へ対応すべき時を迎え、個人の生き方や生活も以前とは違ってきています。

そのような状況下においても、私たち歯科業界は、歯科医療を通して健全な全身状態で安定した生活が行えるように、地域社会を支援し続けています。特に歯科医院で行われている歯周治療や予防は、全身疾患との関わりが深く、疾病の予防や健康寿命の延伸につながると大いに期待されています。

したがって、歯科医院でその役割を担う人材の確保は極めて重要であり、そのための職場環境の改善は必須です。

働き方改革は、2019年4月より関連法が順次施行されました。勤務環境の改善がなければ、健全で継続的な医院経営は成り立ちません。2007年、2014年に行われた第5次・6次医療法改正は、働く場の改善を組み込んだ、医療の質を上げるための法律改正でした。これらの法改正に合わせて、厚生労働省研究班より「医療分野の『雇用の質』向上のための勤務環境改善マネジメントシステムの導入の手引き」が策定されましたが、その内容は経営学を基盤とした組織の仕組みづくりそのものでした。まさしく厚生労働省が示す手引書には、「雇用の質を上げると医療の質が上がり、その結果、患者さんの満足度は向上し、歯科医院の経営は安定する」と、指摘しています。日本歯科衛生士会においても、この考えを加味した新人育成のためのガイドラインを示し、効果的な人材育成方法を提示しています。

この度は、「雇用の質」向上の視点から、歯科医院にとっての経営の質の向上、勤務負担の軽減、やりがいの向上、患者にとっての質の高い医療の提供を実現するための好循環サイクルを、勤務されている受験資格を有する歯科衛生士全員が日本歯周病学会認定歯科衛生士である「やまざき歯科医院」での取り組みを通し、歯科学と経営学における理論と実践の融合を通して、総括的にお伝えいたします。



小原 啓子 先生

**略歴**

- 1980年 広島歯科衛生士専門学校卒業
- 1980～2007年 広島県歯科医師会にて、歯科衛生士学校、口腔保健センター、公衆衛生活動に従事
- 2004年 産業能率大学卒業後、広島大学大学院社会科学研究科マネジメント専攻（経営戦略研究室）修了
- 2007年 デンタルタイアップ設立後2011年に法人化
- 2015年 神奈川大学短期大学部客員教授

(株) デンタルタイアップは、広島県仕事と家庭の両立支援企業登録・広島県働き方改革実践企業認定  
ビジネス・イノベーション・アワード2018「歯科医療業界働き方改革賞」を受賞



山崎 史晃 先生

**略歴**

- 1995年 九州歯科大学卒業
- 2002年 やまざき歯科医院開院
- 2018年 大阪大学大学院歯学研究科終了、歯学博士

日本歯周病学会・歯科補綴学会会員  
日本有床義歯学会学術担当理事・指導医  
富山県「元気とやま！子育て応援企業」登録